



第28回定期委員会



3月28日、成田支部事務所にて、第28回定期委員会を開催しました。参加した委員からの実践的な発言により、1年間の中間総括として運動方針が満場一致で可決され、定期委員会は成功裡に終了しました。

寺西 執行委員長あいさつ

自分にとっての東労組とは何か？人間関係だけでなく、もう1歩踏み出すことが重要。ぶれない軸を持って欲しい。

武蔵小金井駅暴行事件で、社友会は会社だけを守る事態が明らかとなった。被害者が加害者とされた本人を支えていく。

この間の春闘や職場での活動といった中間総括を経て、次のたたかいへ向けていく。目先だけの事に騙されないようにする必要がある。

委員からの発言内容

25春闘は納得出来る回答ではない。著しい物価上昇なのに回答が早過ぎるし、出ている様に見える数字をごまかす会社姿勢が現れている！

営業職場での社員代表の重要性について周知する必要がある。多能化が進み、覚えることが多い。掲示板の設置を検討して欲しい。

特急列車の車掌1人乗務体制は改札が間に合わない。安全問題に直結する事態である。安全・サービス面でも2人体制とすべき。点検は必要だ。

加入したから終わりではなく、この組織が必要だと思ってもらえる事が大切。

支え合い 守り合い、安全・健康・ゆとりある職場を創りだそう！